

2021年度 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム 「あさひかわオープンカレッジ」のご案内

共催：旭川市教育委員会

日時：2021年10月2日～11月30日まで、全7回開催します。

場所：フィール旭川7階 シニア大学講座室

(日によって時間が変わります。)

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会とが連携し、市民のための公開講座を開催します。(資料代として各1講座、500円いただきます。ただし、学生・生徒は無料です。)

新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用で受講願います。

また、受付で検温させていただきます。(熱がある方は受講できません。)

なお、手話通訳が必要な方は、早めにお申込みの上その旨お伝えください。

◎9月1日(水)～募集開始(各講座30名)

10月2日(土)「国境を越えて考える疾病対策」

13:00～15:00 講師：旭川医科大学 助教 神田 浩路

10月16日(土)「コロナ問題を哲学する」

13:00～15:00 講師：元名寄市立大学教授 白井 暢明

【旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター】

11月6日(土)「音楽の力～音楽療法入門～」

13:00～15:00 講師：旭川大学短期大学部 教授 五十嵐 路子

11月10日(水)「あさひかわのまちづくり」

15:00～17:00 講師：東海大学 名誉教授 大矢 二郎

【旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター】

11月12日(金)「モノづくり、クルマ作りの変遷；Just In Timeからその次へ、
北海道からのモノづくり」

14:00～16:00 講師：旭川工業高等専門学校 准教授 杉本 剛

11月17日(水)「『老い』を考える—自分らしく生きるために—」

15:00～17:00 講師：旭川大学 教授 栗原 律子

11月30日(火)「文豪たちの語学力」

15:00～17:00 講師：北海道教育大学旭川校 教授 十枝内 康隆

※ 講師の都合により、内容等が変更になる場合があります。

[お申込み・お問合せ]

一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

TEL&FAX 0166-26-0338

Mail awbcsns2013@gmail.com

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるよう様々な活動を行っております。

本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなくともに地域の課題を考え、地域づくりに取組む契機となることを目指しております。お気軽に参加ください。

(興味のある講座だけでも受講できます。)

定 員：各講座 30名

募 集 開 始：9月1日(水)から
(道民カレッジ連携講座です。)

講義概要 10/2(土) (シニア大学講座室) 13:00~15:00

「国境を越えて考える疾病対策」

『アジア最後のフロンティア』と呼ばれるミャンマー。『光り輝く島』という意味を持つスリランカ。両国において長期滞在し、感染症を中心とした調査研究を担った経験をもとに、これらの成果がどの様に私たちの生活につながり、結びついていくのか、これからの国際協力も含めて皆さんと一緒に考えたいと思います。

講義概要 10/16(土) (シニア大学講座室) 13:00~15:00

「コロナ問題を哲学する」

新型コロナウイルスによるパンデミックは、健康上の脅威、医学的な問題にとどまらず、現代に生きる私たち人類全体の生活様式や価値観、つまり文化のあり方と密接に関連しています。その観点から、いま世界の多くの哲学者や思想家たちもこの問題にどう対応すべきかを考え、発言しています。それらを紹介しながら皆さんと一緒に考えたいと思います。

講義概要 11/6(土) (シニア大学講座室) 13:00~15:00

「音楽の力～音楽療法入門～」

音楽は趣味や娯楽のひとつとして皆さんの生活の中に溶け込んでいるものと思いますが、実は人間の歴史と共に、無くてはならないものとして私たちの命を支え続けてきました。音楽の持つ様々な力を発見し、近年医療現場や施設などで行われている「音楽療法」の意味を確認しましょう。

講義概要 11/10(水) (シニア大学講座室) 15:00~17:00

「あさひかわのまちづくり」

1972年、我が国初の歩行者専用道路・平和通買物公園が誕生して来年は50周年、鉄道の高架化に伴って建てられた新・旭川駅のグランドオープンから今年で10年が経過しました。今、駅周辺の景観も大きく変わろうとしています。人口の減少、少子高齢化がいよいよ進む旭川、そのまちの姿は今後どうなるべきなのかを考えます。

講義概要 11/12(金) (シニア大学講座室) 14:00~16:00

「モノづくり、クルマ作りの変遷：Just In Timeからその次へ、北海道からのモノづくり」

高度成長期のモノづくりでは流れをJITにより効率化し、生産状況を理解しやすくする線の「カイゼン」が重視されてきた。最適な線はその時代の背景によって変化する。昨今、SDGs、IoT、地方創生、Society5.0、コロナ時代と種々社会変革のキーワードによりモノづくりは工業地帯だけのものではなくなっている。本講演ではモノづくりの時代毎の変遷を取り上げ、これからの地方におけるモノづくりの方向性を議論したい。

講義概要 11/17(水) (シニア大学講座室) 15:00~17:00

「『老い』を考える—自分らしく生きるために—」

「老い」ということばにどのようなイメージを持っていますか。私たち人間は、みな平等に歳を重ね「老い」ていきます。

「老い」とともに起こる身体的・心理的・社会的な変化を知ること、その変化とうまくつきあひながら生きていくことができるかもしれません。明日から自分らしく生きていく方法を一緒に考えてみたいと思います。

講義概要 11/30(火) (シニア大学講座室) 15:00~17:00

「文豪たちの語学力」

戦前の定番エリートコースといえば、旧制高等学校を卒業して帝国大学に進むことであった。立身出世が約束された最難関の道を歩みながらも、文学部にドロップアウトしたり、最終的に専業作家となることを選んだ文学者も多い。この講座では、谷崎潤一郎や芥川龍之介のような「エリート文学者」たちの人生の軌跡をたどりながら、彼らの外国語能力にスポットライトを当ててみたい。